

2018年12月26日

課題名：常染色体優性多発性嚢胞腎を対象とした腎容積計測における  
計測値の再現性について

◆研究の目的と概要◆

当院では、嚢胞腎の腎容積計測精度を上げる目的で、腎臓 MRI 検査を受けられた患者さんを対象に、臨床研究を実施しています。本研究は、腎臓 MRI により撮像された画像と過去の診療録（カルテ）等を利用します。

◆対象となる患者さん◆

2014年1月から2019年3月までの間に、常染色体優性多発性嚢胞腎と診断され腎臓 MRI 検査を受けられた患者さん

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、これまでの治療経過、腎臓 MRI 検査の結果および腎容積の計測結果

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

放射線技術部 研究責任者        的場 将平

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明